察庁法改正案に抗議し

の国民の声が

止めた

政府・与党は5月18日、特定の検察幹部の定年を内閣の意向で特例的に延長す ることを可能にする検察庁法改定案の今国会での採決を断念しました。

日本共産党の志位和夫委員長はネット番組に出演し、「ネットで起こった大きなう ねりが、テレビや大きな新聞に広がり、日弁連が声をあげ、検察OB、特捜OBの方々 も声をあげるなかで、今国会成立を阻む方向になっているのは、本当に大きな画期 的成果であり、日本の民主主義の底力を示したと思っています」と表明しました。

さらに志位氏は、2つの点で「撤回」が必要と主張。 同改定案のうち、個別の検察幹部の役職定 年の延長を内閣の一存で可能とする「特例」 部分の撤回です。志位氏は、「三権分立と法治主 義を壊す『特例』は撤回し、与野党で合意できる部分 (一般の国家公務員と検察官の一律定年引き上げ

部分)はしっかり通したらいい」と主張しました。

発端となった東京高検の黒川弘務検事長の 定年延長の撤回です。志位氏は、定年延長の 閣議決定は、「国会で決めた法律を無視してやった、 立法権に対する侵害、三権分立に対する侵害であり、 違憲です。きれいさっぱり撤回すべき |と主張 志位氏の発言、詳しくは→

今国会での成立を断念させたのは、 Twitterデモに発したみんなの声です。最優 先のコロナ対策に全力をあげます。

コロナ対策を考える特集と「お役立 ち情報 |は日本共産党のHPから→



参議院議員(東京選挙区選出)

ご意見·ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

#検察庁法改正案に抗議します

この国民の声が

安倍政権の暴走」上めた

政府・与党は5月18日、特定の検察幹部の定年を内閣の意向で特例的に延長することを可能にする検察庁法改定案の今国会での採決を断念しました。

日本共産党の志位和夫委員長はネット番組に出演し、「ネットで起こった大きなうねりが、テレビや大きな新聞に広がり、日弁連が声をあげ、検察OB、特捜OBの方々も声をあげるなかで、今国会成立を阻む方向になっているのは、本当に大きな画期的成果であり、日本の民主主義の底力を示したと思っています」と表明しました。

次は無別氏の定年延長「特例」と黒川氏の定年延長の協回を出た。

さらに志位氏は、2つの点で「撤回」が必要と主張。 同改定案のうち、個別の検察幹部の役職定年の延長を内閣の一存で可能とする「特例」 部分の撤回です。志位氏は、「三権分立と法治主義を壊す『特例』は撤回し、与野党で合意できる部分(一般の国家公務員と検察官の一律定年引き上げ 部分)はしっかり通したらいい」と主張しました。

2 発端となった東京高検の黒川弘務検事長の 定年延長の撤回です。志位氏は、定年延長の 閣議決定は、「国会で決めた法律を無視してやった、 立法権に対する侵害、三権分立に対する侵害であり、 違憲です。きれいさっぱり撤回すべき」と主張 しました。 志位氏の発言、詳しくは→

命・くらし、民主主義守るため全力!!

今国会での成立を断念させたのは、 Twitterデモに発したみんなの声です。最優 先のコロナ対策に全力をあげます。

コロナ対策を考える特集と「お役立 ち情報」は日本共産党のHPから→



東京 民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、 FAX 03-5972-1590 **2020年5月号外** 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。 発行/東京民報社(港区芝 1-4-9 平和会館 5 階) 1965 年 11 月 12 日第三種郵便物認可

日本共産党